

“75歳で区別され、保険料は年金天引きとなる制度”に高齢者から怒り

中上議員、保険料負担の軽減を市に要望

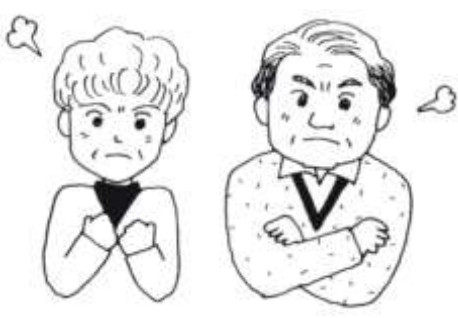
75歳以上の人は、後期高齢者医療制度に強制加入となります。交野市では、4月から6千人近くが後期高齢者医療に移行となります。保険料は年金から天引きされるなど、すべての高齢者は保険料を徴収されます。そして、収入がない人も均等割として、一人年間14,224円の保険料を徴収されます(資料1)。

収入のない人、扶養家族となつている人からも保険料を徴収

4月から、後期高齢者医療制度が始まりました。年金からの保険料天引きと差別医療に“年寄りはずく死ね”ということか”と怒りの声が上がっています。日本共産党中上さち子議員は、一般質問で後期高齢者の保険料軽減を市に求めました。

が保険料を払わなければなりません。現在、扶養されている人の保険料は特例の軽減がありますが、2年後には保険料は全額の徴収となります。(資料2)。

さらに、保険料は2年ごとの改定で、医療費や75歳以上の人が増えると値上げされることとなります。



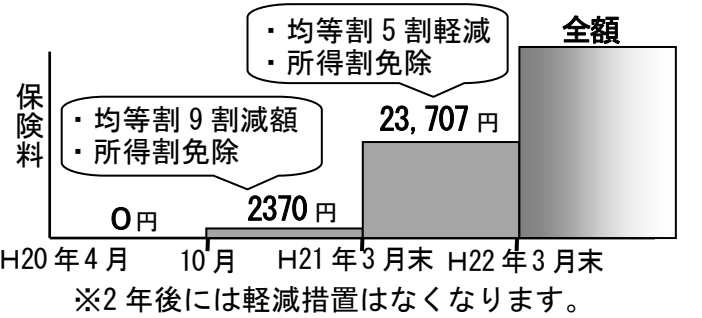
資料1 年金収入(単身世帯)の場合

年金収入額(円)	~120万円	160万円	180万円	200万円	220万円	240万円	300万円
保険料額(円)	14,224	20,300	61,368	78,728	105,571	122,931	175,011

年金収入(後期高齢者夫婦2人世帯)の場合

年金収入額(円)	夫	~120万円	160万円	180万円	200万円	220万円	240万円	300万円
	妻	~50万円	50万円	50万円	50万円	50万円	50万円	50万円
保険料額(円)	夫	14,224	20,300	47,143	78,728	96,088	122,931	175,011
	妻	14,224	14,224	23,707	37,932	37,932	47,415	47,415
保険料額総額(円)		28,448	34,524	70,850	116,660	134,020	170,346	222,426

資料2 扶養されている場合の特例軽減



日本共産党「市独自の、保険料軽減策を要望」

日本共産党は、高齢者の負担増となる保険料の軽減を求めました。しかし市は、「財政健全化に取り組んでおり、難しい」と答弁しました。高齢者の暮らしを守ることも財政健全化を優先する姿勢は、自治体の役割を放棄するものではないでしょうか。

後期高齢者医療制度のねらいは医療費削減

*千葉県浦安市では、高齢者の負担軽減として1人に年間1万円を支給します。

制度のねらいは、高齢者の医療費を大幅に削減することです。しかし、日本の医療費水準は、すでにOECD(経済協力開発機構)30カ国中22番目の低さです。政府はもともと医療費が低すぎることをたださず、高齢者をひとつの保険に押し込め死ぬまで保険料を払わせる制度をつくりました。高齢者医療費は、道路財源やら兆円もの軍事費を削減すれば十分うまれます。

日本共産党は、高齢者の命と尊厳を踏みにじる制度の廃止を国に強く求めます。

2008年4月13日
NO. 1426
【発行】
日本共産党
市会議員団
ご相談は市役所
議員団控室へ
私部1-1-1
☎892-0121
(内線301)



中上 さち子
倉治 6-17-13
☎893-6785



さかの 光雄
私部 1-38-23
☎893-1083



さらがい ふみ
星田 7-44-21
☎894-2835